

午後 II 試験

問 1

出題趣旨

情報システムの開発における要件定義において、システムアーキテクトは利用者などとともに、提示された業務要件を精査する。その際、業務要件のシステム化によって得られる効果とコストや開発期間などを総合的に評価し、業務要件の優先順位を付ける。

本問では、業務要件の優先順位付けをするための手順と評価の方法について、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要な、業務要件を分析して評価する能力と経験を評価する。

問 2

出題趣旨

情報システムの機能強化のために、新たに開発した情報システムを稼働させる場合、移行作業が必要になる。システムアーキテクトは、対象業務の特性による制約条件から、情報システムの移行方法を検討する。

本問では、対象業務の特性による制約条件を踏まえて選択した移行方法と、移行作業後の業務に支障が出ないようにするための工夫について、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要な、情報システムの移行に関わる設計能力と経験を評価する。

問 3

出題趣旨

近年、オープンソースソフトウェア（以下、OSS という）を利用した組込みシステムが増えている。

本問では、組込みシステムへの OSS 導入の利点、注意点などを踏まえ、OSS 導入に際しての関係部署との協議内容、OSS の適用方法についての考慮事項、及び開発時に下した判断の妥当性について具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要な、設計能力と統合力を評価する。